



岩田ひろたか

HIROTAKA IWATA
MASSUGU REPORT
VOL.12



レポート 2018年春号



◎発行日:2018年3月 ◎発行者:岩田ひろたか事務所 ◎住所:〒690-0884 松江市南田町105 TEL:0852-24-2323

2018年度のスタートに寄せて ~2期目の総仕上げへ~

皆さんこんにちは。島根県議会議員の岩田ひろたかです。2015年春の県議会議員選挙以来2期目の県議会活動も最後の1年になりました。活動をスタートさせていただくことができました。初当選以来一貫して掲げる「すべての基本は人づくり」の視点を軸に、地方創生のカギを握る青写真「島根県総合戦略」の成果が求められています。2018年度は「2期目 集大成の年」と位置付けて日ごろの皆さんのご期待に応えるべく全力で駆け抜けます。これから島根はどうあるべきか一緒に考えていきましょう！

県議会2期目の後半2年間は農水商工委員会に所属となりました。県内の商工業、農林水産業の発展に向けて活動しています。特に中小企業の育成、観光振興、第二次産業の再生は大きな課題となっています。

県内では新規就農者が着実に増えつつあります。一方で耕作放棄地も増加を続けています。

特に農業の担い手育成、若手就農者の支援、6次産業化、販路開拓など、委員会の中で活発な議論を行っています。また生産者との意見交換などを通して島根農業の未来のるべき姿を考えます。



▲ 生産者との意見交換



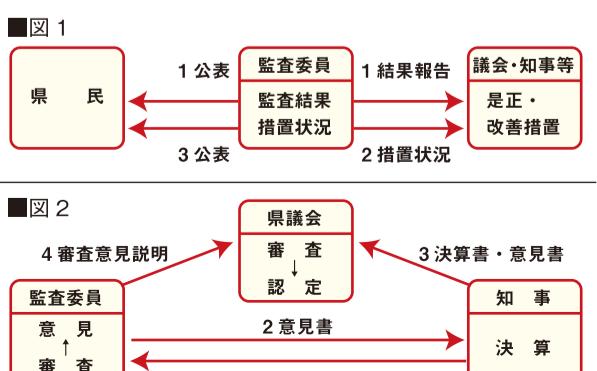
子育て真っ最中の議員として、いろいろ「気つき」があります。議員の仕事は「裁量労働」です。仕事に「休み」という概念がありません。逆に言えば「休む気になれば休める」ということです。ですが、その職責を考えるとなかなかお休みを取れないのが実情です。育児にどの程度男性が関われるのかは女性の社会進出やキャリアアップを実現するうえでとても重要です。実体験にも参考にながら子育て環境の充実に力を入れています。



子育て世代の 議員として



監査の様子



当初予算案では総合戦略の推進のために、様々な事業が盛り込まれています。新規に実施される主な事業は次の表とおりです。

県の監査委員は、県議会議員から2

2017年度から島根県の監査委員を拝命しました。監査委員の仕事は、県の業務や事業の管理が、適法かつ適正に執行されているか、最少の経費で最大の効果を挙げているか、組織及び運営の合理化に努めているかなどをチェックして、知事・議長及び関係のある委員会等に報告書を提出します。課題が見つかれば、関係機関に対し改善措置等を求めるになります。

国体等で、2.2.0(格闘について実加)についています。定期監査等の結果については、議会知事及び関係のある委員会等に提出するとともに県報で公表しています。また監査委員は決算を審査し、そのまま審査結果に意見を付けて知事に提出します。(図1)

知事は、監査委員の意見を受けた決算を議会に提出して認定を受けます。(図2)

監査委員つて

島根県監査委員を拝命



6月議会

萩・石見空港の路線維持対策は県西
部の地域振興と一体で行うべき

6月議会では2便化の存続が危ぶ
まれる萩・石見空港の問題を取り上
げました。県では路線維持のために
多額の運航費助成を行ってきました
が、ただ単に「安いから乗る」という路
線維持では、県はこの先もずっと財政
支援を続けてはなりません。

質問に当たり山本益田市長や地元
経渉人と意見交換をして「地域が望ん
でいるもの」は何なのかを考えました。
萩・石見空港の利用客は、半数以上
は羽田から乗ってくる県外客でした。
そう考えると、石見地域の魅力アップ
や産業振興が必要不可欠であり、基
礎需要を高めることによって「飛行機
代に関係なく利用してもらえる」とい
う状況が大切と実感しました。



▲山本益田市長と意見交換

9月議会
骨髄バンクドナー登録推進の支援充
実を求める

2017年7月末現在、ドナーの登録者数は全国で47万5,606人で、島根県でもおよそ4,200人のドナー登録があります。このドナー登録は、18歳から54歳の方しかできず、全国では近年、毎年2万人が登録取り消しなどで、新規登録をきちんと増やしていかなければいけません。骨髓移植のためには事前の通院や、移植の際の入院が必要で、時間的制約から登録していく

のではないかと危惧されていてこの対策について尋ねました。骨髓移植のためには事前の通院や、移植の際の入院が必要で、時間的制約から登録していく

も実際移植にまで至るケースが少な
いという問題があります。そこで、ド
ナーへの助成制度の創設や企業が休
暇取得をさせやすいよう対策を求め
ています。

ドナー登録の増加及び多くの骨
髄・末梢血幹細胞移植の実現を図る
ことを目的として、公益財團法人日
本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事
業において、骨髄・末梢血幹細胞提
供を完了した方に対し、自己貯血
や骨髄・末梢血幹細胞の採取のため
の入院など、提供にかかる通院、入院
の日数に応じて助成金を交付しま
す。松江市をはじめ県内8市ではド
ナー登録の増加及び多くの骨髄・末
梢血幹細胞移植の実現を図ることを
目的として、骨髄・末梢血幹細胞提
供を完了した方に対し、自己貯血
や骨髄・末梢血幹細胞の採取のため
の入院など、提供にかかる通院、入院
の日数に応じて助成金を交付してお
り、この取り組みを全県、さらには国
全体の取り組みに広げるよう要望し
ました。



11月議会

就学前教育を担う担当部署の必要性
を質す

こうした議論の成果もあって、
2018年度予算では、益田市の2
次交通対策など、基礎需要の拡大に
向けた予算が盛り込まれることにな
ります。

2018年度から、新しい幼稚園
教育要領、保育所保育指針などが
実施されています。新指針において
は3歳から5歳の教育内容について
保育園と幼稚園で、より一層の整合
性が図られます。島根は其働き率が高く、保育所
に通う園児の比率が高いのが特徴で
す。保育園での就学前教育がますま
ず重要な役割を果たすのです。いま幼
稚園は教育委員会、保育園は健康
福祉部が所管しており、違う部署が
担当しています。

私は、子どもの育ちを支えその後
の小学校、中学校、高校と学びの
好循環を作るためにもセクションの一
元化が必要と考えています。

11月議会では就学前教育において、
本県の独自性を打ち出し、あるべき
姿を打ち出すよう求めました。これ
に対し執行部からは、「幼稚園、保
育所、小学校、中学校、高等学校、
特別支援学校などが校種を超えて連
携し、子ども一人にとって最適な
学びの環境を確実にバトンタッチして

いくことが大切である。」と認識を示
したうえで、就学前教育の体制整備
について検討していくとの答弁があり
ました。新年度から幼児教育総合
推進事業として松江・浜田に幼児教
育センターを設置し、幼稚園教諭、
保育士等の研修支援を充実すること
で、全県的に幼児教育の質の向上を
図ることになりました。

2月議会

特定行為が行える看護師養成へ研修
機関設置を求める

厚生労働省は、2025年に向

けて、さらなる在宅医療などの推進
を図っていくために、医師または歯科
医師の判断を待たずに、手順書によ
り一定の診療の補助を行う看護師を
養成していく必要があるとしていま
す。これが2015年10月にスター
トした特定行為の研修制度になりま
すが、県内ではまだ11人しかいません
。特定行為を行う看護師には、国
が指定した病院などの研修機関での
研修が義務づけられていますが、島
根県には県内に研修機関がなく、県
外に長期間研修に行かなくてはなら
ないことがネックとなっています。看
護師が自分の住んでいる地域から通
えるような状況で研修できる環境を
整えることが急務だと考え、その必
要性を質しました。

執行部からは、「急性期から在宅等

のさまざまな医療現場で特定行為の
できる看護師が活躍するようになれ
ば、医師は医師にしかできない業務
に専念でき、医師の業務負担の軽減
につながる。医師不足を抱える本県
におきましては、その補完にも大き
な効果がある。」とその有効性を認
めたうえで、「おおむね半年から2年
間の長期研修が必要となり、県外に

な見込みで、検討は保留されています。

事実、いろいろなお話を伺うと、
U・I・T・A・R・Eで移住される方がいたり、
畜産業に大きな投資を行つてお
り、これから更に事業拡大していく可能
性もありそうです。山奥の厳しい過
疎の村ですが、希望はあります。村
長の「全国的なユースで注目された
今はチャンスだと考えている」という
前向きな言葉が印象的でした。

出向いての長期の研修は派遣される
看護師にとっても、派遣する医療機
関にとつても大きな負担となっています。

「人口減少で議員のなり手が将来
なくなるのではないか」という懸念から
村議会を廃止して「村総会」を設
置することが必要だと思うので来年
度の早い時期に、開設に向けた検討
を関係者と進める。」と前向きな答
弁を引き出せることができました。

弁を



お知らせ

◎県政報告会を開催します

岩田ひろたか県政報告会

日時：4月21日(土) 午後5時30分～午後6時30分

場所：労働会館4F(松江市御手船場町)

◎どこでもミーティングはじめます！

現場の声をもっと聞きたい。そんな思いから、「どこでもタウンミーティング」を始めます。

あなたの地区に岩田が伺います！

3人以上集まれば、開催しようと思います。岩田ひろたかと島根の未来について語りませんか？県議に聞いてみたいこと、あなたの思い、ご意見をお聞かせください。

お友達同士で、地域の仲間で気軽にお声がけください。

■詳しくは、お電話かメールで岩田ひろたか事務所までお問い合わせください。



岩田ひろたか事務所は
〒690-0884 松江市南田町105 Tel.0852-24-2323
E-mail : office@iwatahirotaka.jp



▲和田村長と

松江の想いを力タチに！

毎年、松江市の県に対する要望を
伺っています。この中で松江市の黒田
町では昨年も豪雨によって40棟以上の
浸水被害が出たとの話があり、その
要因の二つは宍道湖につながる排水ポン
プは手動で動くため、稼働までにタ

竹島の日記念式典
国の主体性求む！

1歩引いていると感じざるええませ
ん。教育の分野においては、高校学
習指導要領改定案では、竹島が尖
閣諸島とともに地理歴史科で「固
有の領土」と初めて明記されるなど、
領土に関する指導が充実されます
が、領土問題は国の主権にかかる
ことであり、ぜひとも日本の真摯な対
応を求めるべきです。

竹島の日記念式典に参加しました
。今年で13回目、参加していて感
じるのは「形骸化」。いまだに主催は島根県など地元で
あり、実現を求めている政府主催に
よる開催や閣僚の出席は見送られてい
ます。国の姿勢が北方領土よりも
柔軟な運用が必要です。

竹島の日記念式典に参加しました
。今年で13回目、参加していて感
じるのは「形骸化」。いまだに主催は島根県など地元で
あり、実現を求めている政府主催に
よる開催や閣僚の出席は見送られてい
ます。国の姿勢が北方領土よりも
柔軟な運用が必要です。

働き方改革を考えて
「島根電工の取り組みを視察」

2017年度の活動から

高知県大川村を訪問

まっすぐ。

イムラグが生じるとのこと。ポンプの
自動化が急がれると感じました。

また、教育では県が対象外と
なってることに厳しいご指摘を頂きました。
もともと離島、中山間地の魅
力化だつた事業で、松江市内
にも中山間地はあ
りますか

で、島根電工にお邪魔しました。以
前は公共事業の比率が非常に高かつ
たのを、一般家庭の小口電気工事を
受けようになつたところ、業績が
急成長。プレミアムライダーの導入
や残業ができるだけしない労務管理
など、すでに「働き方改革」を実
践しておられました。誰かを感じた
せた社員を表彰する「感動大賞」
など、毎月の金曜は3時に仕事を終え
て、街で飲食などに使うでもらおう
と始めた「プレミアムライダー」支援
金など面白い取り組みが盛りだく
さん。荒木社長の「会社は社員を
幸せにするためにある」という言葉
が非常に印象的でした。働き方改
革は、経営者も社員も意識改革が
大切だと改めて感じました。

で、島根電工にお邪魔しました。以
前は公共事業の比率が非常に高かつ
たのを、一般家庭の小口電気工事を
受けようになつたところ、業績が
急成長。プレミアムライダーの導入
や残業ができるだけしない労務管理
など、すでに「働き方改革」を実
践しておられました。誰かを感じた
せた社員を表彰する「感動大賞」
など、毎月の金曜は3時に仕事を終え
て、街で飲食などに使うでもらおう
と始めた「プレミアムライダー」支援
金など面白い取り組みが盛りだく
さん。荒木社長の「会社は社員を
幸せにするためにある」という言葉
が非常に印象的でした。働き方改
革は、経営者も社員も意識改革が
大切だと改めて感じました。

